

## 平成21年度の風力発電連系募集について

当社は、低炭素社会の実現に向けた対応の一つとして、風力発電など新エネルギーの利用拡大に努めております。

風力発電の連系募集にあたっては、連系申込の急増に伴い、電力系統に与える影響の検証が必要となったため、平成17年8月に連系申込の随時受付を一時中断し、検証までの間、平成18、19年度に5万kW程度ずつの募集を行うこととしました。

あわせて、その間に蓄積される風力発電の出力変動実績データをもとに技術的な検証を行ったうえで、当社サービスエリア内の風力発電連系可能量を公表し、可能であれば募集することとしていました。

(平成17年8月8日報道発表済み) [PDF:979KB]

このたび、風力発電の連系可能量の検証を行い、その結果に基づき、平成21年度の風力発電連系募集についてとりまとめましたのでお知らせします。

### 1. 風力発電連系可能量の検証結果

平成19年度の風力発電出力変動データ(約10万kWを対象)をもとに、連系可能量を検証した結果、62万kWとなりました。

なお、今後も風力発電の運転開始が計画されていることから、これらの運転状況などを踏まえながら、連系可能量の評価を行い、風力発電の更なる導入量拡大に努めてまいります。

### 2. 平成21年度風力発電連系募集の概要について

連系可能量の検証結果(連系可能量:62万kW)から、現在までに連系契約を締結している42万kWを除いた20万kWを、平成21、22年度の2年間で募集することとしました。

平成21年度については、合計10万kW(一般枠9万kW、自治体枠1万kW)を募集します。

なお、募集説明会は、平成21年3月下旬を予定しています。開催日時等詳細は、改めてお知らせする予定です。

以上

別紙1:  [風力発電連系可能量算出結果について \[PDF:176KB\]](#)

別紙2:  [平成21年度風力発電連系募集の概要 \[PDF:14KB\]](#)

### 関連リンク

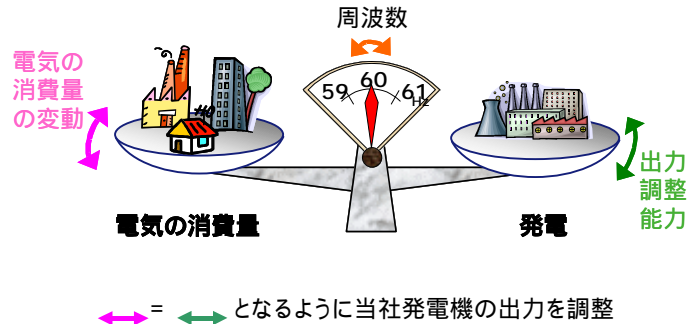
[電力購入について](#)

## 風力発電連系可能量算出結果について

## 1. 電気の消費量と発電量のバランスについて

電気は貯めることができないため、常に電気の消費量と発電量をバランスさせる必要があります。

お客さまに安定した、品質の良い電気をお届けするために、電気の消費量の変動にあわせて常に火力発電機等の出力を調整しています。

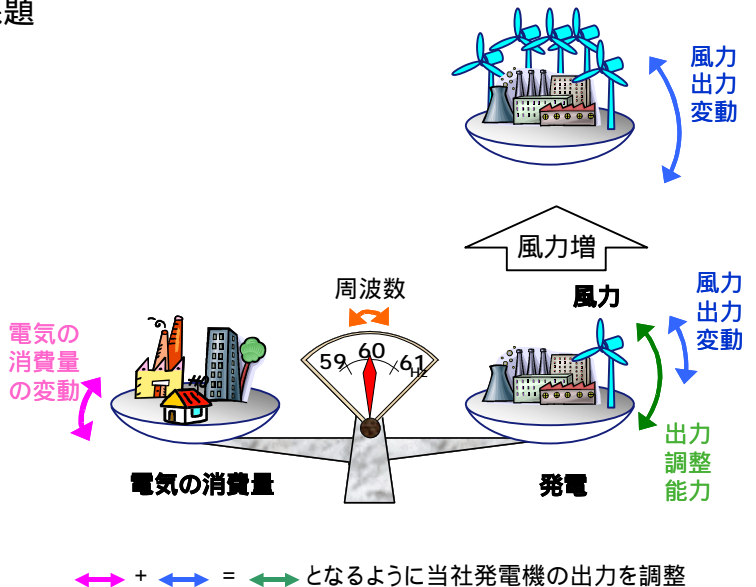


## 2. 電気のバランスからみた風力発電の課題

風力発電の出力は風の強さに応じて大きく変動するため、電気の消費量の変動に加えて風力発電の出力変動も火力発電機等で調整しています。

風力発電の量が増加するとその出力変動が大きくなるため、火力発電機等による調整が困難となります。

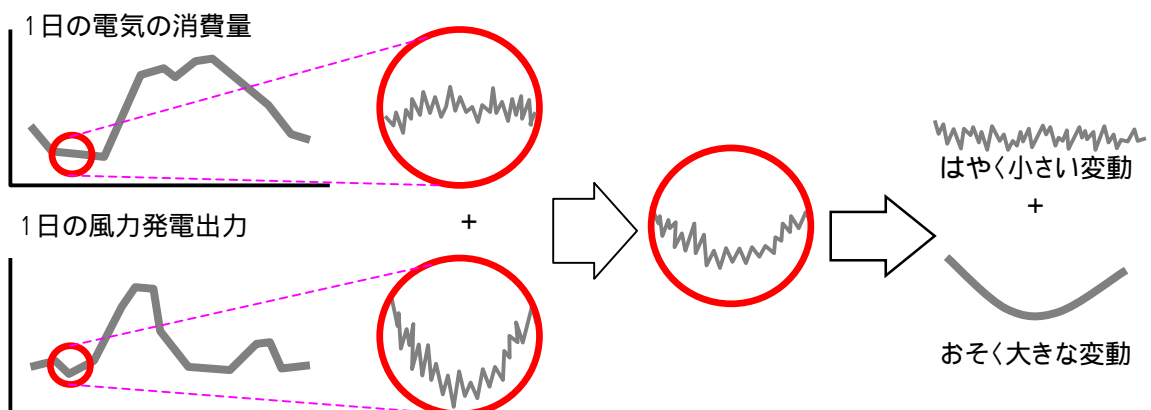
このため、電気の品質に悪影響を与える可能性があります。



## 3. 電気の消費量の変動と風力発電の出力変動

電気の消費量の変動と風力発電の出力変動は「はやく小さな変動」と「おそく大きな変動」に分けることができます。

発電機の出力調整能力についても、同様に分類し、それぞれの変動に対する調整能力から、連系可能量を算出いたしました。



#### 4. 風力発電連系可能量の算出

##### (1) 「はやく小さい変動」に対する算出結果

風力発電の量が増加すると、「はやく小さい変動」が大きくなり、火力発電機等の出力調整では吸収できない可能性があります。

このため、風力発電の上限を設定する必要があります。

上記の考え方に基づいて算出した結果、「はやく小さい変動」に対する風力発電連系可能量は80万kW程度となりました。

##### (2) 「おそく大きな変動」に対する算出結果

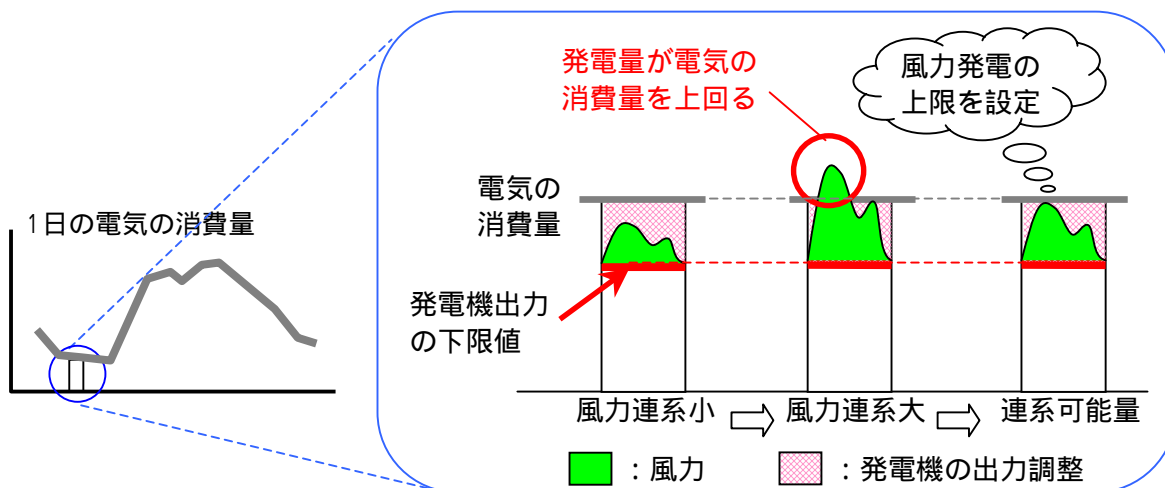
電気の消費量は昼と夜、また季節によって大きく異なります。このため、この「おそく大きな変動」に対しても発電機の出力調整をしています。

発電機には出力調整できない範囲（出力の下限）があります。

発電機出力の下限と電気の消費量の差が小さい時間帯に風力発電の出力が増加すると、発電量が電気の消費量を上回る可能性があります。

このため、風力発電の上限を設定する必要があります。

上記の考え方に基づいて算出した結果、「おそく大きな変動」に対する風力連系可能量は62万kWとなりました。



(1),(2)の結果から、風力発電の「はやく小さな変動」と「おそく大きな変動」の両方を調整可能な62万kWを連系可能量に設定しました。

## 平成 2 1 年度風力発電連系募集の概要

## 1. 募集の対象

定格出力の合計が 2 0 k W以上の風力発電設備で、次の連系・運転開始条件を満たすものを対象とします。

定格出力の合計	連系・運転開始条件
2, 0 0 0 k W未満	平成 2 4 年度末までに連系・運転開始
2, 0 0 0 k W以上	平成 2 5 年度末までに連系・運転開始

なお、当社系統へ電力を流さない自家消費用、および発生する電気を当社以外に販売される風力発電設備も、当社の系統に連系される場合には、出力変動が系統に影響を与えるため、募集の対象となります。

## 2. 募集の概要

	一般 枠	自治体 枠
募 集 量	9 0, 0 0 0 k W	1 0, 0 0 0 k W
区 分	出力 2 0 k W以上の風力発電設備 (自治体枠分を除く)	自治体対象補助金( )受給案件
一案件の出力	9 0, 0 0 0 k W以下	5, 0 0 0 k W以下
選 定 方 法	入 札	抽 選
契 約 期 間	1 7 年間(または 1 5 年間)	1 7 年間(または 1 5 年間)

対象補助金等、詳細については、募集説明会においてお知らせいたします。

## 3. 募集スケジュール(予定)

平成 2 1 年 3 月下旬	連系募集説明会
平成 2 1 年 3 月下旬 ~ 5 月上旬	連系検討申込受付
平成 2 1 年 1 0 月頃	連系申込受付
平成 2 1 年 1 1 月頃	連系優先順位決定会
平成 2 2 年 3 月末頃	結果公表

## 4. その他

募集対象外の風力発電設備については、随時、連系申込を受け付けています。

## ( 1 ) 定格出力の合計が 2 0 k W未満の小型風力

今後の導入状況によっては受け付け方法を見直す場合があります。

## ( 2 ) 本土と連系していない離島に設置される風力